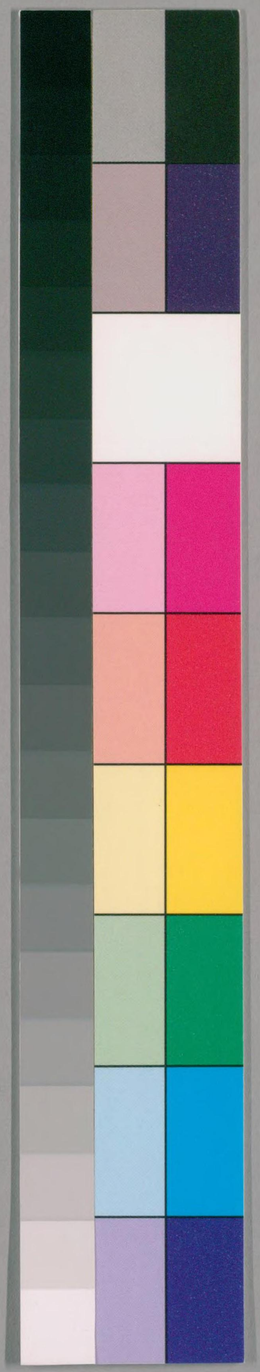


国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28 別國

おひさがし

民産(ひさしごう)坊(ごうべん)無(けい)なるとうしのうちりて動進(ぐりんぢん)ちやうかうがちやうをあらくきこのこと上をまはとがしよくしくちやうりんをそ聞しく小兄ハ南部(ざ)乃まくめみて御座(ざ)ありきろをぞんじゃさて一時るまとも志くれてしこうせ中御る事よさこうし佛神(ぶつぢん)三かうもまきをみく志と如かまもんそまくしこるこへゃせとて爲んをいをしゅうぜらるくむさし安培(あんど)のおりひとなしいまハおひとあく小をうちやと思ふりいや

後錄

国立国会図書館 タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

しく志まさうそのまをひさがさまあしかり
なんとぞんずまはをひかけるうぐしきに
むぎとなほうこがしはらんじてせうくもん
ぢんかくくもとてまきさきね五十辻(びきむさし)民差か
海へ小はませらるゝとがしのきこれかこを
まきさね三十辻むさしかおまをりせらるゝ
そのかりんぎしの人こまむさしとのか海へ
小たかう乃屋まを津む無なあまをこそあら
ねびたしのはかうがどもはやこいまも
給りいくまこともあまこよ里ねくへあまこ

乃るんしまの作へもあうまる三月れあろ朝
乃屋どへはけてこんべとゆとがしゆくきやうは
なむてうととはるむさしいれを云はけこる
事なまはこやこは三条(ぢうかいさき)河原(かはら)清(きよ)の無(つんけい)なか宵
へはけそこへといゆんずとおもひこやこは
三条かいらさ紀のなんといろしあつと
思ひて　なんそうのはなへはけてこんべとそ
のべ了きらさらもはいと海中とてたらひ
小いと海をこしひあはまとがしれこうをいて
まきり

みまんだうにまいりてきこゝにかくとゆきを
はむさしとのすてなりまりさらまん
乃清きんけとて清手をあらせこまひまり
その夜ゑこゝやのあしさらけの時神に一夜
乃清やをゆ夜をこめていて清ふ里人ゆきう
やうゑあまこゝる越中(えつちう)への清下向(かう)ゑゆりひ
をこゝろね事すてはそまゝ我いかにゆふとゆふくり
めらうこうげゆはとれこの七郎う七百余(よ)孫
すてさらへやまぶしをと我しゆさす志をこゝら
乃なひとをはか賀(ゞ)と神(の)聖(と)のさうひ我志かれ

小太郎ゆきさきくやまふし城と城し
中さに越中への清げかうまゆりひようをと
中判度きこしめされてびんせむのたよりを
あまきうしと給ひまはゞ爲んをいゆくさまなり
くらりし能空のかゝへくらう私やあうと
同(とう)たゆりふし能空の面をごのみさ紀へ下る
私こそはひきまてんのあこふうとこそ
ちのふ氏に說んせんしその日れうらり
のとのくにまくのこさ紀にあとなく清うせ
給ふ　法ふ氏よりをあうらせ給ひみぎそれ

いたりあしをかけあらうのやまをはらん
まきはせきがんがぐとそびへ風ちくむらう
万(ばんなく)来る志に書(かき)ううことくなり西(にし)れ抱きい
まそ志をなくさうかひ雲城ひさしろうひ
城まううこしふ氏やなこまふう門きこう夜
志門むこ門にたふまそとぶかもめこぎされ
いたになこうけてそこあらいその器(いえま)冒にも
くさけくみ西るう門せがひ人のあろまあら
いそのかゝ思ひ城あたびうひこうめかのり
そともんとそあまたうこに抱り起こりう門

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

きのうめようき志門む　うくてゐんけいい
とあるいたまよりそれしりこうめのはい
ゐるをとりあけくはゐへにまいらせきれた
れしいいきてうこききまたこうめもとりにう
あききりたうぐんはらんしてはおれこうやこ
にゐしまきたいきこうこうめをは何として
うたは強んずべきそ壹國（をんごく）のたてまてを義理う
とくにふ里からめいこのをてあそむをは強ん
まうこと知りせけまた　はおとりあへさせ
こゐりは

うやこゝよりまゝのよりひりうりまきて
みちと紙くしさうきめうり切る
判賀(こうらん)きくしめされてあら捨ましろの御忘い
切やはいてく義種を清西(へんり)家城まさんこそ
うきめをはりしかとともにかきすそく
よろしびとるりまくのこさ紀や
あのうこはなくさゝ給ひ今は私訴(かぶち)はたより
をるしさりくのまりりを志く越中へこそ
本色まれまりいそ清ひ山清こひこへく
かそき苔(こふ)のみち順(ぢゆんさう)なりまはせきこうさん紙

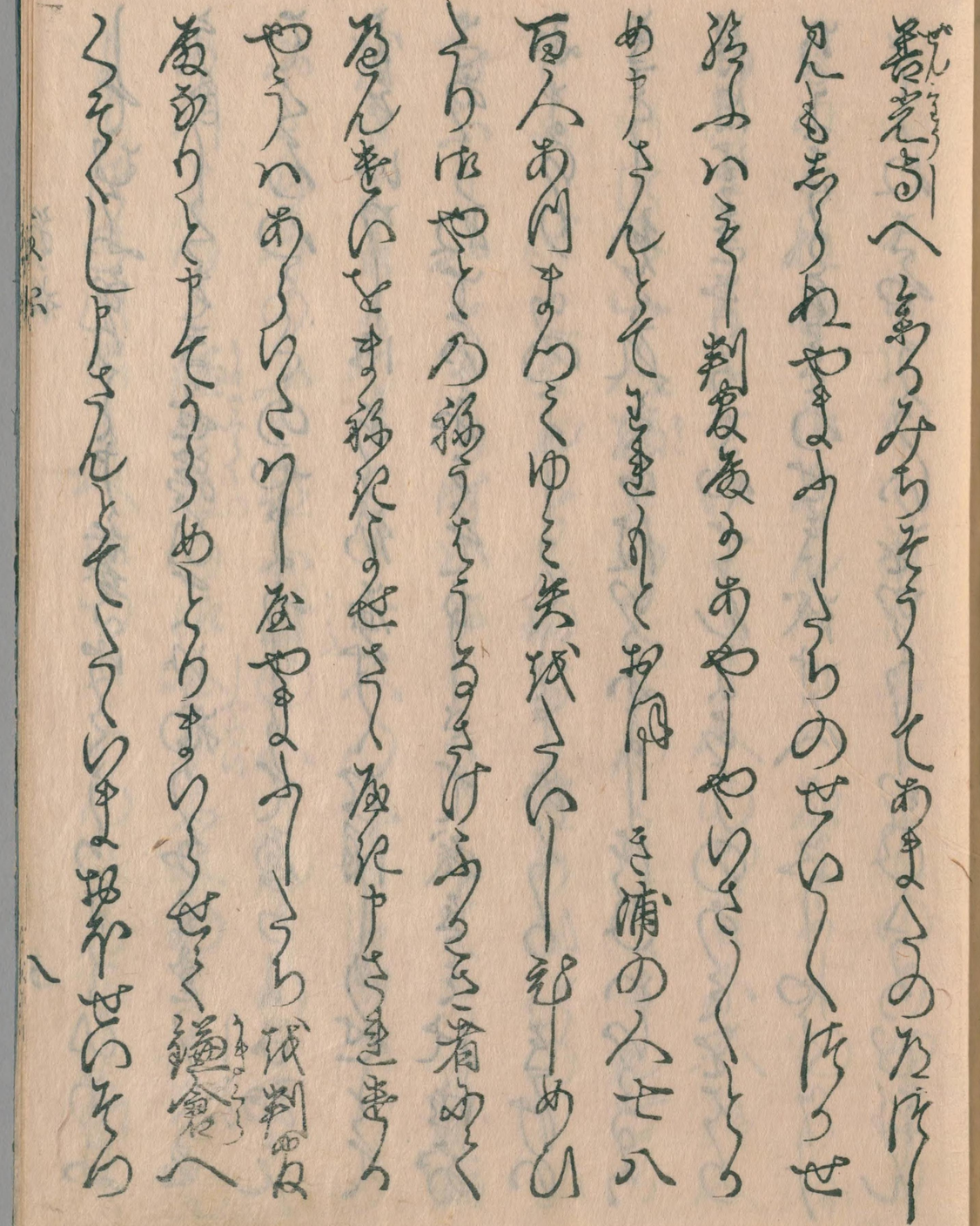
ふし拘りこそさらせまひまりあひさ越中
のあよやこうろくとうしのまうりし
かとなく清り世給ふまくしをわりゆまりを
このまうりとゆるを南都さう忘いのうめるり
ちんなくしてはまくしゆまりとゆ色んけい
ゆくはりせきくし津(つ)どまりまてを山伏は
なくひまてちんといふ法をなる紀そこくまこ
せとゆいやちんなくはまくしゆまりその
後(ぎ)まてありなくもあまくる里清りと里阿まと
ゆちんはあしいそかもしくちさむせはあく

まりをいるる事ゝ聞るなんと語おれくまを
る事乃ち志ゆのもうまとりいこしせんとう
語きてこふなちむよあまこうあまとてきびに
きまをたしりゝ事ゝいえきれしゝ
見志りやさぬ物まてちとこふそくなはそんし
くゝもさうもまこしやとそろくとうしを
あきまこし　もう志門をあゆる也　いも
屋乃まこりけふ也もや　うらての志ゆくと
うらなりめ語と縁りありしところよこひ
人あまこゆきあひてあまこよりゆくへのうら

をかゝお人我あ由ませやそいくゝくゝり
給ふ為きるふ家僧とやけり　刺賀ゆたまそ
そまきせきくのふきうりゝいるゝ是ゆて
あるやるんと語こゝ申ありきまはこひ人や
きゝやうきいやみりにせきもうすあの面我
ゆきまきて越中と越後とのさりひゆくる
もまをふもまをにふしゆらあひなむとゝや
てあまこ乃なん志よのゆそうしそゝろ為い
四十八ケせ　とき志をもうのまを志あまは
玄年乃ゆきのむらきこそしことしのゆきれ

ふりけり是若の志ことに門ぬらあひてあかさ
海さり為ならてかよふ為きやうさしふなし
たうくはんさくしめされて就んせむのたより
もあまうしと却れ世まきけぬりふしあらと
乃國る我元の津へくらる私ようひけまし
ふひふびんせんしあちてのくふな我元の津
ふかとなく作り世給ふ法私よりをあらら世
給ひてな我元乃太郎の宿所に一枚の屋と我
うり給ふうらの人とさしあ門まりてなひぎ
ひやうちやうまり屋ういあの浦い為國の切り

善光寺へ来るみちそうしてあまたの人作し
見も志らねやまふしたらのせいしく作り世
給ふいそし判官屋のあやしやいさしくとう
めやさんとそまきりと却ひき浦の人七八
百人あ門まりくゆゑ失我たいし就しめひ
たりはやと乃称うたうなさけふるさ者ゆく
為んをいをまま称紀なせさし屋紀やさまきり
やういあらいたりし屋やまふしたら我判官
屋ありとやそうらめとりまいらせく鎌倉へ
くそくしやさんとそくいまは却せいそう



八

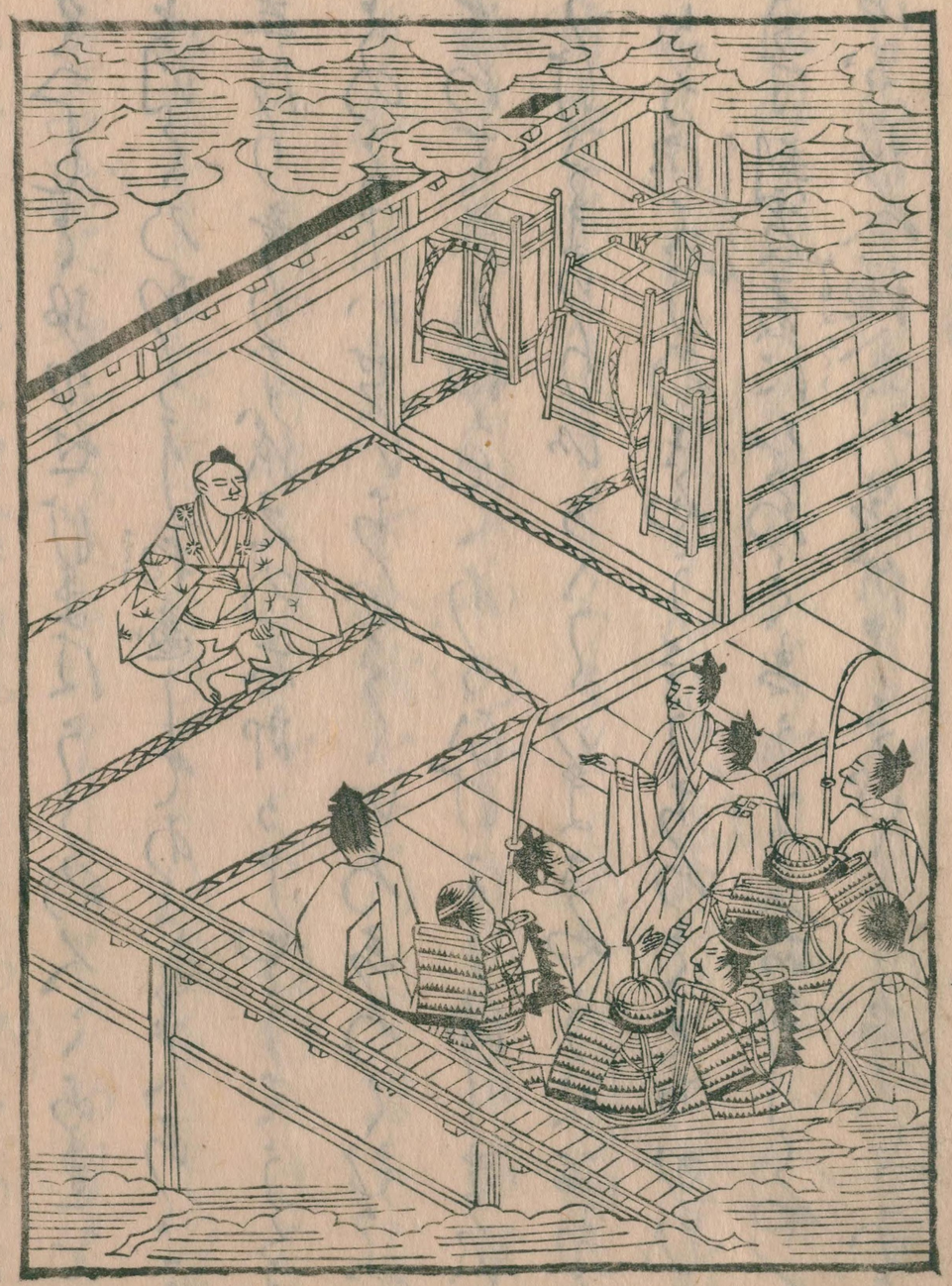
してむかふ御りとゝ弁参る御ぞくうちまゝひあふ
うましくをきる世給ひて御掛りなまきしくを
をくろ乃うさのやまふしとりて御らよ子御を
よをはりし御あ孫屋すく御用しめせとて
さあらねていふをてをしさて我をこれ御お
おまいりあのよしうくとゝあくろ　をけい
をこしゆんされてあはいりふよし御ひいけるる
月日生まきりそやてんよあうのあこをとり
ちよさうをき乃せき我すへ　ゑしやくり
うらねをやうりいをかくしかひこうむ孫ん

さよ　くらはゆく志くをことものあやまり
もありね御し御ゐんうらい聖よふしのこ孫
乃あきとうふせいまそうへのやまふ入孫へ
よし御ひ一人孫里ゐてもんとうてこんすう
りちんしそんをう掛なるはあひ御のかひ
をふうふをその時いはりくうりてとりふ孫
我をまき義りとゝて十一人乃へをかさいう
ふうら志のふを祖ふ浦の人うんりのことく
あ川まんこ鎰倉殿の御舎弟右更のをうくもん
よし御ひ此うゝへ御つきあゆうらよし取く

らいてうの法こいくもんになす後元此太郎の
法むりひに乗りてはなやくに法常うへうま
くうへ法とも中さんと大蓄あけく中さけい
中右まくなるかなうくもんとのとはいけ是に
聞しますそいけそやの事うとこと平家後世
めんそのこめ十万余綜をそのしてねくよ里
うけこのやら世給ひしをたくろのうこなら
ゆくそとゆんたてまつりてうひ志ろこいま
立子綜にをとう夏ゆはまし座たりかりて此
小勢にそうなりせ給ふ色きそ小伏こちにも

こうぎこへてゐのとの法供し一分ふ世
をへしと拙なりせけまはううの人こあまを中
三門くのかりうけ相違してあきまてあくけ
立たりまりなる後元の太郎か中やうたうくもん
とのとやハせいちいさくいろ志ろくむふを
そのてさうゐるこあるひげけ聞しまはと
うけこまりはかこいまさやうにはなりせ
らうはたうのきやうさうちのとをちかひや
さす判官殿になるくまこうふ所なしもやく
法お形へ鎧倉へ法供中さむとこしふくにや

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



義經きこしめさまてあらうましやほいで
をもひこくをとろしきくうゑくらとやらんを
こそと彼らふにとうしてほまくゆき給へ浦
の人こあまは彼きくもしをさをる紀屋まゐし
をうまくらまてそろくとぞそくしたりとを
さしうろかうこゑういなくしたくやまゐしとも
にのろりまよかりほ屋しとも扨をしをしよ
せんをひ彼給りなりを知らいてこんする
ま山伏乃ぎゑうじやるくもんやまゐしれだうぞ
あらへしそこやまゐしまてあるなは山

十一

伏乃ごうぎよもあもしまよせんをひをこ海
りりなりを見んとこゑしくまゝたうぐまん
ちうをよぞせこ海りは八ちやうのをひ我部
制しうう人乃かさへまこうし給ふ浦人此をひ
我とりてゆき　なりをひろいてこそあまは
ま内一たん乃をひ此はこんかうかいのまん
こうこいざうかいのまんごうこまの次第流
當乃なりかす我はくしていまこりきりめく
らし姫こうあせ屋こうこうひゝとうろり
くりこの寄こまをなうし一人来てあらくく

拘りこ知えあしくしてどちあこなるとて
なん乃ことくまとり拘さむる二ぞんのをひ
乃なりゆいまんこ川二番のなりしやゆけう
のとめいあこあまもうこしけるしやとそなん
乃あとくりとり拘さむる第三ぞんのをひ
ゆはさんことつこまいしやくちやうくまじや
たるさう我入ふかり此事のをひ此なりふは
あこいそん乃まいさう姫どうかう海の志よ
そん本當乃かす我はくしとり又事のをひ此
中ゆは屋んちやううんそんまうらいうれ

まなの手本弘法の法自筆こうふうかふりひ
ぬでひかんのうすをたくしこり知をしらね
をなしなくたりとしとやたくしを我あるせ
ねるすりきり　をひにまゐかあらをこそ
いさもとらんとやな紙元の太郎かやけりい
一切乃まきかそりしまそいりなりねそ強る
をひをはこうこめりしをきこうそこしさう
せとや雲にしく先をいまきたりとそ又つき
なりをひをとりてゆきなりをひらいてこそ
あまは判覆屋の様よりまもさせこまひあり

をえきまをひ乃法をくまきあそこをそくを
とりかしそ先を聖よふしのこうくはかさま
たこうたうぐまんとのよとこ忘しくにや判覆
ゆたまくさそくめんしくい当國志よ山寺
の山伏こら拔見ならりてたぐろの方は山伏
乃乳袋をはしろし弟されねよなふ　拾たく
ろさんとやいしんのぎやうぎやのあけはみち
山伏の記志よたりあくにしもとと名付けて
まりまくにふりまふかこありやまふしあま
をそ孫こしんいのいりりこへせはあまり

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

あまいふしの道々にかあらしもせうとをこ
なひ正夜さうせ給ひこうやまふしこうやさま
えこそ判官殿よとこしなりしかりまし侍
ちのともさいうせ給いけあふめんしく此法
姫しんいな理まれかけおひうれらしやうそく
乃使東をそまがしかれんごまそ御しますい
なぐろ乃こんまむの一のみとこうまこれく
いまむふ三十あり乃法こしの法統此こめ給
おくあれらへかひくし給ふ掛かけで手給
乃ゆらいを越中の西三川なし我と給りし

時三川なしとのくひめ君きや西い我はよく
いこりぞんめいふ定ふおいせしを此山法
乃なりりきんしやのよきあるりより七日
どまりからしこうまちきんふ法けや元ふ
よれそさいなう我　本当のおふとりうろう
掛かけるくい使者をこそ　三川なしへ問
せ給ふ為しうろの人こあまき我きくさやうま
法のべあるんにはいれなまはあうとりこう
法方まそも御しませ同行まそ元ひへぜひ一人
給ふ鎰倉へぐそくしやさんとこ急くり

十五

中判度ちかくまなくなせ給ひ給ひしあるかひ
給ひしかし二條三川ふきかゝ給ふかゝ此ことゝ
だに志川まりけまはうへの山ゆかしをく
人くまむさしたうあんまいひこうたうかひ
ぞん飛井（うめゐ）うたなり伊勢（いせ）駿河（すうが）あの人く給さ紀
としてうちかゝるまきりめんめまも川く
みられ入て何とて見るしいかひをは喰（かく）そ
そまやまふしのかひふくい屋くそくうまく
ふくそのをさうるふかひ給ることを事記ゞ
事なりとや法くぎけいをるかにとりこめ

たりたうぐまんゆ右まてなふ志川まりこ海へ
かくしあのうちのめんし此なんし一人
とりこめて判度ゆるまきけいゆるまと給
あまとうちを志西しやうをるきにふまるら
志とやいへたくなれしくと給ふ給ひ以箱に
娘（あま）りせんだう川きたてくしいまのかひ給
ふひてはゆめんなまやとゝ給ふ給ひ無なり
あまをきくさてあきていの事うれたぐろ
乃かくのやまふしにふしる紀事給云法け
たうぐまんになまきけいまなまとゝたまに事そ

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

とてもの事にあらはなる絵えふ事を
まきらう値家（すまう）となす事なりあくに立たる
大まく夜見志らねりかにはゐてまた六ちやう私
乃せんとう七月の初あいてさうれあきあし
八月乃はしめ越おの西とうやはるかれ津に
そこゝらせいしうもと我宿として七里津
あらちのなりやまうひ津のうらよりふ○我
こそく大津乃のかりおかちの後たの中を宿
として二年に一度はくおりのかり志給ふ六
ちやう私のせんとうとみんすした夏のそうゆう

いまこそこめいこうともゆう祥んのなつれ
あろいくすても氣りあひあらくらおしや
ひりんまいをやさんとてかうしくとまらひ
きまは浦乃人こあまをゆたうぐまんとのて
まし海さたまきうふ○の浦さたろ夏い
かたしろしめさる夏き事のあはらぬその
さ紀あちこよ浦の人ことひと里二人にけて
ゆくゐんきいはくいてなんうけてなふとそ
めんしいなひをうらけくう人さね我そまき
山伏乃うけなひまこくしなうね事そとよ

十七

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

劉氏武義（ひさう）とはまつぐを趣りはしさきにこのうち我
あらそはねへ―俊（ひん）せんのたりをあまりしを給
せ事は無等に形くそうしく我吾のあしさそ
起んせんりしこそ其ひんせんと俊私（びんせん）あの
こを志給ふにより門くかりむ門かしき事此は
そや此國西西のかんせんはこなふなりしき
にてありあひさ私法の事をはよくんはこは
ふ〇を一そうりひとりて我としあぎらごらん
になふ乃ま細のはへきさうぐらん事ふもと
出候―免しな我えの志節だめされこの為ん

そうりふ〇やはひけいあまる我えうけ
こ海りりよそをひけいゆ迄を守小事ちや
ふさなまこくりりしまりた郎よふことりと
ゆてちやふ孫を七そうも門くはしようりし
まりせてめさ事為しとゆ義理は古まてあら
おひたりしとあさせ給ひこうふ孫たやは
そのるりにと門くをこうとりあるふ〇は
りり程を世ようしとて義理の私（ひさう）差ふれ
めすあろさやまきのはこしのものをとり出
させこまひてな我えの志節にこぶな我えは

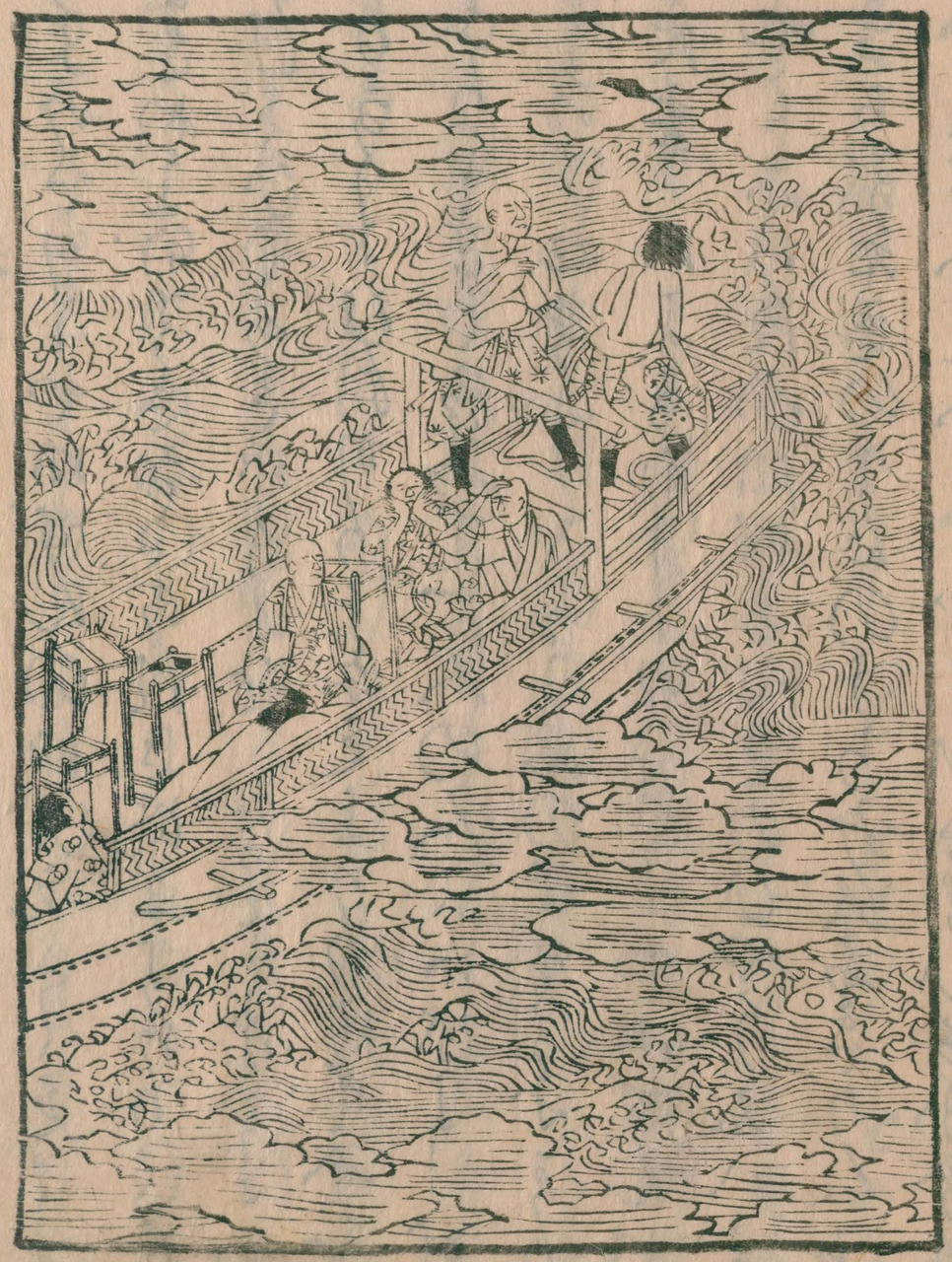
廿九

あし乃掛我給りふなくそく起しくとし
はくあひみ〇をしうへたやめされよとや
十三人乃人とゑ重をしくとめされかり
うゝりきりな我元の津をとゝゆへなくあき
いうし順風を取てかをあけかり　うんうい
まんしくとしてきいをるし　雲此なるをかす
そのきゝりまけうし　さうたな我乃ち我
し　みぎたのうそゑあしきに船(ほ)かりなく
たんりとひりきり　い川重此せいきゝ
よしはゑとをあとりに　うへらん事我えん

とゝゑうんせうしゑうのなりめありうし屋
しやなうりかゑいたつきり　なしたきこそ
せめ義理ゑい川の時にそやこへとていうへ
なへしせめくゝ後はさ升をはこと法てむと
の給ひはく前我よゝ詩をはくりうち我とり
か我あけくなゝぢたりうにふゝ重行ふさし
こうあゝ重なる重　うゝ重けんとゝろに作(さど)此
西かくさんのたけよりも黒雲一村立おかふ
夜の風のあやしやとおかせられきんとゝろ
に又越後乃國さまうこうのうへこ重をらい

てんくを我知てかすあまきしきのうちの山
かけう物乃うくれし波いの食あるふ〇
よせて　あのなん我のがるへしといふいも
せもなそをしして大風こすゑをふきくこき
る程さおいさこをとはすまは色いくとし
さくうんういおゆきの山こそ物かうりまま
三川我てんまふきあけさらさ波のあめとそ
成たりまる上下ふ〇ゆり　ゆひ給ふそのるら
にと川くをよしもりと無事二人さうりこそ
物かなさぬぎおなさぬいくとも色に立くそ

まいりまるいふもしてひふ〇我いそへよを
へうほあういそおふ〇をよせ私そんしてい
うるふましうせりし波うせてうぢをとれか
こをう風にをまはなたこを切く風をと我
せな我しを風うたけしくを物かはなこはな
我きりはとしをはなおゆひはけ知らすへ
ししとりうぢよりあいうたれをかぢへのり
る我せ廃井うこをうませんちやうけうりれ
たしなこおこうらきゆけお役をふくに
忍ぐ給ふそのうなふなそこへ物りこくあら



国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

あらいたりしやはぜんの法月を見てをまし
まきれまおらきなくあはき風にかりたそ
こけとひとしきたくしを　なをとなをこふ
ゆりなりしむけかりこゑをよりけそ今を
うきりと見こ給ふ十一人の人こいしよし我
見まいらせ世ふしくふう姫の中なにまり
なる紀事へよもあらしいこりしやはせんれ
こやこ小法座乃法時ゑ七重のひやうふ八重
乃きちやう九重のまんのうちみはふきうへを
うせ我たふを人こいくひこまひしふ今を

いつしかりけてかゝるを西えこうおく拇
そてこ海りんいたりしやとをにかををわさ
むくともうらをふくのなをこなりしまり
今也ゑありともねをこねふ孫ともうをかす
あまたなりの君こたりあまはこまけ私ろうを
しやとねをせられまりところうしさいなく
あくあるたこさしあけこうむしやたりいり
なくをねをくまきいてこりふしきふおけし
めすところにふ孫のうちにしゑありてむ孫
をりゑ子あまりしありあ東西のみらるんしや

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

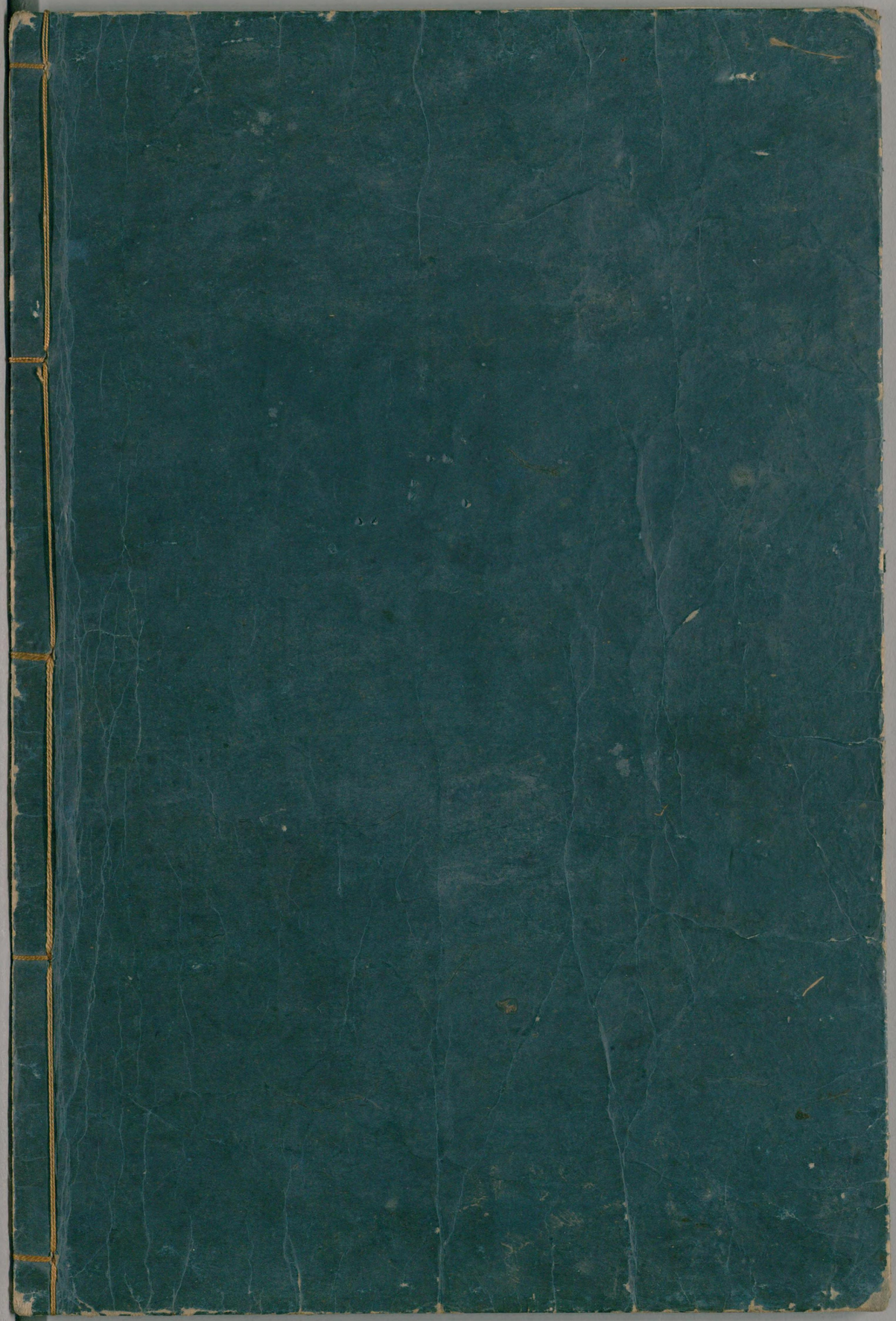
たこそ撰ばくのはんまやうをかくけとはなさはしてあうちやくのたうあやうりまんあ
あ給ふいとりしさよ民今や無愛かいんぶう
よ住き法ふ乃一里をさと同まんあのき門か
をもるまてめううくむゐのくゐよ住うせ
給へとやとき二位殿のこあとしてむりしい
一てんのこくむとしたんせうのせいあ也と
あしうと今ハ又みもすそうた此るうま遠里
もていり身我いましあうさんれていきう
あつとのあう稱ん事いさこよりを粮おかし

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

別13
25
28

先により門ゝ六段抄かくの墨絞めくりさんぞ
八なん乃きうあうをのりまゝくく思ひ志ふ
こゝいまゝ爲んけいかいんぶうに門き法ん
乃一里をさと同里ん志のき法なをもなまく
めうかくむねのくらねりしはいかう事れ
うましさよむりしいかうきいまいぶう志と
なり給ふいと夜中て法ゝはとてなこれそこ
まいり給へも風を有こも志門まんてふひい
あれこそゆりもゆりんこのうれしさこと
爲んかこを有りまり

国立国会図書館　タイトル『おひさがし』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『おひさがし』　請求記号　本別13-28

ガラス使用